

平成二十三年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成二十三年二月一日〜平成二十三年四月末

投句数 一、四一四句

特選三句

天

関伽水に人それぞれの彼岸かな

千葉県船橋市 前原慶輔

地

切り通し多き鎌倉花の雨

神奈川県横浜市泉区 糸谷京子

人

初蝶の行方を追ふて谷戸の道

神奈川県鎌倉市 高橋千鶴

入選句

一般の部

白梅の香につつまれし虚子の句碑

埼玉県草加市

伊熊美智子

春の海みたくてふつと江ノ電に

神奈川県鎌倉市

磯崎洋子

良縁を祈願の絵馬や銀杏の芽

神奈川県横浜市港北区

一宮英典

頼朝の気分で歩く春大路

神奈川県鎌倉市

伊藤俊昭

夕映えを山にとどめて春時雨

東京都杉並区

稲垣克巳

道祖神ほゝゆるみをり春立つ日

東京都町田市

今井幸子

灯に浮ぶ花は妖しきばかりなり

神奈川県平塚市

小野寺信雄

鎌倉に大町小町春の鳶

神奈川県横浜市戸塚区

高橋央尚

建長寺三門下の余寒かな

千葉県我孫子市

佐藤敏弘

うつくしきまなざしに会ふ花の雨

神奈川県逗子市

佐藤信子

山門を桜餅下げくぐり抜け

神奈川県横浜市戸塚区

芝田和男

きさらぎの空も豊かに鳶舞へり

東京都町田市

清水由紀子

大仏の膝みな叩く遠足子

神奈川県横浜市港北区

鈴木基之

宮鳩の一斉に翹つ初桜

東京都狛江市

曾田智子

鎌倉の路地知り尽す恋の猫

神奈川県中郡大磯町

中村真弓

喝采を浴びて古刹の大桜

神奈川県鎌倉市

兵藤寿恵

源氏池ひかりこぼして牡丹の芽

神奈川県横須賀市

山口義一

雨晴れて鎌倉山の櫻かな

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

白梅の影や天神朱の社

東京都大田区

山田隆紀

天神の朱の拝殿に牡丹雪

東京都板橋区

若林喜美夫

(順不同)

入選句

子どもの部

報国寺春一番の竹の中

神奈川県鎌倉市

金子侑太

春一番鎌倉見守る大仏様

神奈川県藤沢市

菅原一真

はるのうみだいぶつさまが見ていたよ

神奈川県横浜市磯子区

あさひなあずさ

かまくらのさくらながめてやまおりて

神奈川県鎌倉市

いしまるゆいな

春風に竹やぶ踊る胸躍る

東京都世田谷区

柁内富有

とれそうでとれないものははるのつき

東京都世田谷区

柁内美緒

長谷寺の観音様と春の海

東京都板橋区

守谷駿

あたたかいはるかぜふいたげんじやま

東京都新宿区

川上大樹

頼朝の墓に咲く花梅の花

東京都新宿区

山崎洋平

春風にのって飛びゆくとんびかな

東京都新宿区

山口泰歩

(順不同)